

京都大学
人 社 未 来 形
発 信 まんが

はやのん理系漫画制作室

第1回
「家族のケアと
社会の関係」

このまんがは
京大の研究を
紹介していく
読み物です！
今回は
社会と家族の
お話ですよ！

変化する社会の中で
どのようにしたら
人々がより良い子育てや
ケアをして暮らしていけるか？

というテーマで
調査や研究を
しています！



現在の社会では
「家族」の形が
多様化しています！

昔は
父母がいて
きょうだいがいて
……と

「普通の」家族像が
あったわけですが

現代では
親がいないとか
血のつながりのない人と
暮らしているとか
同性カップルがいたり
することもありますよね？

そこでこのような
関係全体のことを
「親密圏」
と呼ぶようになりました

そして
人々を支え
取り囲むのが

国家

親密圏

市民社会

マーケット

といった
「公共圏」です

文学研究科 社会学研究室
アジア親密圏 / 公共圏教育研究センター

落合恵美子 教授

日本は
子供を育てるにあたり
この公共圏からの助けが
不足しています

福祉が
足りていない

- ・ 待機児童問題
- ・ 産休育休取得
- ・ 職場への復帰の制度的な難しさ
- ・ 母子家庭や移民家庭などへの支援の不足

マーケットも不十分

- ・ ベビーシッターや家事代行サービスが
- ・ ない
- ・ 少ない
- ・ 利用しづらい
- ・ 費用が高すぎる

周囲の人に
助けを求めにくい

- ・ 核家族
- ・ 子供を預けられる人がいない
- ・ 結婚で地元を離れた
- ・ 近所づきあいの減少
- ・ ボランティアやNGOの未発達



日本人はベビーシッターや家事代行に抵抗感のある人が多いと思うんですけど…?

でも昔は「お手伝いさん」や下宿して仕事や家事子育てを手伝う「ねえや」「書生さん」の存在がありましたよね

私の部屋も…ちょっと他人には見せられないです

アッ!? 昔の文学作品とかにもよく出てきますよね!

この数十年で失われてしまった感覚を取り戻せば「家族以外の人を家に入れて家事を任せる」という選択ができるようになるかもしれませんね

家族のケアを家族だけ……

しかもその中でもできる人だけが抱え込んで抱えきれなくなるのが問題なんです

孤立した状況の中で追い詰められていく人がとても多いです

そして虐待へつながるケースも……

問題が起きてからの介入ではなく予防的支援を!

子供の年齢や母親が働いているかどうかにかかわらず希望すれば誰でも集団保育を利用できるようにすべきでしょう

出生率低下の一方高齢化が進み介護の必要な高齢者も増えています

実際そのために女性ばかりでなく男性もしばしば退職を余儀なくされています

育児や介護といった家庭や生活の都合にフレキシブルに対応できる勤務が可能になれば皆働きやすくなりますよね

育児も 介護も 仕事も!

育児も介護も男女関係なく誰にでもやってくるライフイベント!

これがもっと理解されるようになればと思います!

「国家」が強い欧州 「マーケット」が強いアメリカやアジアとそれぞれ特徴はありますが

その社会でうまくいくような「国家」「マーケット」「市民社会」による支援のバランスを作り出すのが大切です

とにかく閉じない!

家族をひらく!

ケアをしながら楽しく生きられる社会をつくりましょう!